ジャストスマイル/ジャストジャンプ クラス 授業の流れ ~授業支援ツールの活用~



タブレットやパソコンなどの端末を使った授業には、授業を支援する機能を搭載した授業サポーターを利用します。 授業サポーターの起動方法と画面を確認し、12~11の作業の説明ページをご覧ください。



※一覧画面の表示は、画面上部の 🖽 [表示切替] をタップして切り替えられます。

電子黒板を利用する

電子黒板など外部モニターに先生の画面や教材を表示して授業 するときは、授業サポーターを導入した先生機と電子黒板をケー ブルでつないでおきます。

▶ 5 電子黒板 A-6

授業ツールを使って、先生機と電子黒板の画面を切り替えること もできます。授業ツールで 「・ 「モニター切り替え」をタップし、 切り替える画面を選びます。



授業の開始 普通教室・PC教室の場合

授業の開始

道具箱

授業のめあて(目標)を設定します。また、授業形態に応じて、通信用のチャンネルを設定します。

1 めあてとチャンネルの設定

授業サポーターを起動すると、[授業開始]の画面が表示されます。授業するクラスやめあてを設定し、授業 で使う通信用のチャンネルについても設定して、授業を開始します。

※授業サポーターを起動している場合は、 (込) [道具箱] をタップし、[授業開始] を選びます。
※めあては、各端末に配信される授業モード画面上部に表示されます。[授業モード画面を使う] がオフの場合は表示されません。

●普通教室で使う場合

普通教室では導入の際に、先生機、児童・生徒機とも、年組用チャンネルを使う設定になっています。年組用チャンネルでは、 指定された年組をもとに自動的にチャンネル番号が割り当てられるため、先生機、児童・生徒機ともにチャンネルに関する 操作はありません。

※移動教室や、学校全体でパソコンを共有して使う場合も、利用者が決まっていないので「年組用チャンネル」を使います。

先生がすること

授業を行う年組を指定して授業を開始します。



児童・生徒がすること

児童・生徒機を起動し、アシストボタンが自動起動すると、 ログイン画面が表示されます。ログインすると、年組用 チャンネルで接続が開始されます。

 ●別のクラスの児童・生徒が授業に参加する場合
 児童・生徒機のアシストボタンの ② [チャンネル] を タップして、参加したいクラスのチャンネルを選びます。

①授業するクラスを選ぶ
 ②めあて(授業の目標)を設定
 ③ OK をタップ

▶PC教室で使う場合

PC教室にある先生機、児童・生徒機は、導入時に、番号指定チャンネルを使う設定になっています。導入時に設定されたチャンネル番号で接続するため、先生機、児童・生徒機ともにチャンネルに関する操作はありません。

先生がすること



①めあて(授業の目標)を設定
② 詳細 をタップ
③ [チャンネル番号を指定する] がオンになっている ことを確かめる
④ OK をタップ

児童・生徒がすること

児童・生徒機を起動し、アシストボタンが自動起動すると、 設定されたチャンネルで接続が開始されます。

A|-2

どう



年組が異なる児童・生徒が参加する授業の場合は、チャンネル番号を設定して授業を開始します。

●年組が異なる合同授業で使う場合

複数クラスの合同授業や、学年をまたぐ授業など、年組が異なる児童・生徒が参加する授業を行う場合は、番号指定チャンネルを使う設定にして授業を開始します。児童・生徒機も、チャンネルを選んで接続する操作が必要です。

先生がすること

チャンネル番号を指定して、授業を開始します。



①めあて(授業の目標)を設定
 ②アイコンを選ぶ

- ③ 詳細 をタップ
- ④ [チャンネル番号を指定する]をオンにして、
 授業に使うチャンネル番号を指定する
- ⑤ OK をタップ

児童・生徒がすること

先生から指示されたチャンネルを選びます。



①アシストボタンの
 ②[チャンネル]をタップ
 ②先生から指示されたチャンネルのアイコンをタップ



授業中に <1>





資料や課題を配付します。また、配布した課題や提出物を回収します。



資料の配付

授業で使う資料や課題を配付します。授業サポーターと接続している児童・生徒機のデスクトップに配付したり、 年組を選んでマイフォルダに配付したりできます。



3 課題の回収

配付した課題や提出物を回収します。



- ① <table-cell-rows> [配付] をタップ
- デスクトップに配付するか、マイフォルダに 配付するかを選ぶ

デスクトップを使って配付・回収するには、児童・ 生徒機が授業サポーターと接続している必要があ ります。授業の前やあとで配付・回収する場合は、 マイフォルダを使って配付・回収してください。

●デスクトップに配付するときは

③ 配付するファイルを設定し、配付 をタップ

●マイフォルダに配付するときは

- ③ 配付する年組を選び、参照 をタップして、 配付するファイルやフォルダーを選ぶ
- ④ OK をタップ
- ① 🕐 [回収] をタップ
- ② デスクトップから回収するか、マイフォルダから回収するかを選ぶ ※デスクトップに配付していない場合は、表示されません。
- デスクトップから回収するときは
- ③ 回収するファイルを設定し、回収 をタップ
- マイフォルダから回収するときは
- ③ 回収するファイルを選び、回収 をタップ
- ④ 回収後に児童・生徒のファイルを削除する かしないかや、先生の回収先フォルダーな どを指定する
- ⑤ OK をタップ

授業中に <2>

画面の配信



先生の画面(完成イメージ)を見せたり、みんなの画面を確認したりします。



4 画面の配信・発表

先生が作った操作画面の手本や完成イメージ、児童・生徒の作品や成果をみんなに見せます。発表する児童・ 生徒を決めて質問や課題に対する回答を電子黒板などに表示することもできます。



●画面の配信

- 配信する画面を、授業サポーターを導入した端末に表示
- ② [+ [画面配信] をタップ
- ③配信元の画面・配信先を選ぶ
- ④ [🕻 🛛 [配信] をタップ
- ⑤ 配信の状態を終わるときに [※] [解除] をタップ
- ⑥ 確認のメッセージで はい をタップ
- みんなの作品・成果を披露するときは?
 ③の[配信元]で児童・生徒を選ぶか、一覧 画面で配信したい児童・生徒機を選び、 □● [画 面配信]をタップすると、[配信元]に設定されます。



●児童・生徒による発表

質問や課題に対する回答は、発表する児童・ 生徒自身が電子黒板などに表示できます。

- ① [配信元] で [発表する人] を選び、[配信
 先] で配信する画面を選ぶ
- ② [][配信] をタップ
- ③ 発表する児童・生徒が、アシストボタンの
 【はい】をタップする

A -5





児童・生徒の画面を電子黒板に表示して、質問や課題について発表します。



電子黒板 5

電子黒板を接続している場合に、接続している端末や、選んだ端末の画面を電子黒板に表示させたり、表示す る電子黒板を一覧から選択したりすることができます。



- ① 😇 [電子黒板] をタップ
- ② 表示させる端末や電子黒板を選ぶ ※表示する電子黒板を一覧から選択できるのは、フルノシステム ズ動画対応アクセスポイントを利用している場合だけです。
 - ●電子黒板を使う設定をする [設定-オプション] の [全般] シートにある [電 子黒板との接続」で、電子黒板を使う設定にす ると、コマンドバーに [電子黒板] のアイコン が表示されます。 ※電子黒板を使う設定について詳しくは、運用ガイドをご覧く ださい。

8 みんなの答えでクイズ番組風に演出

課題と回答用のボタンを配ったあと、質問や課題に対するみんなの回答を、できた人から順に確認したり、一 斉に表示したりできます。



A [全員の回答を表示] をタップ

A|-6





課題や作品の状況を確認したり、端末の操作を禁止するなど、指導や操作支援の機能も利用できます。



6 画面の拡大・比較

課題や作品の状況を確認します。複数人の画面を比べて見ることもできます。



操作の禁止・解除

タブレットなど端末の操作ができない状態にして、説明に注目させます。



授業サポーター 2018のステータス情報

授業サポーターの一覧画面に表示される児童・生徒の画面の状態を表すアイコンは以下の通りです。

*	児童・生徒がアシストボタンの「はい」 ボタンを押すと、名前の左に表示され ます。もう一度押すと消えます。	+	配信先。 配信画面を表示している端末を 表します。
\bigcirc	端末の操作を禁止しています。		画面を録画中です。
	バッテリで動作しています。 また、その残量を示します。	•	環境復元を停止しています。
****	AC 電源で動作しています。 また、バッテリの容量を示します。	3	端末のブラウザ起動を 禁止しています。
al al al al	受信電波の信号強度を示します。	未接続	接続したことがない端末を表します。
		オフ	端末との接続していません。
+	配信元。 この端末の画面を配信しています。	接続中	端末に接続しています。
		画面取得中	端末の画面データを取得中です。

アプリケーション一斉起動/Webページ一斉表示/授業の終了

授業中に <5> /授業の終了



アプリケーションや Web ページを一斉に起動・表示します。 授業が終わったら、めあてなどを表示した授業モード画面を終わります。



 ① (道具箱) をタップし、メニューから [アプリケーション 一斉起動] を選ぶ
 ② 起動したいアプリケーションを選ぶ

1 授業の終了

授業が終わったら、めあてなどを表示した授業モードの画面を終わります。 パソコンの電源をまとめて切ることもできます。

端末の環境を授業前の状態に戻すときは、Windows を再起動します。 ※先生機など、環境復元機能を導入していないパソコンは、パソコンの電源オフや環境復元の対象外です。電源を切るときは手動で操作します。



- ① 🕐 [授業終了] をタップ
- ② めあてなどを表示した授業モードの画面だ けを終わる場合は [授業モード画面を閉じ る] を選ぶ
 ※ 必要に応じて [電源を切る] または [Windowsサインアウト]
 - ※ 必要に応じて [電源を切る] または [Windowsサインアウト] を選びます。
- ③ OK をタップ
- ④ 確認のメッセージで はい をタップ